

# SVG 資料第 9 回目 (その 1)

## PHP の基礎 (1)

メディア専門ユニット I(SVG)

2016/6/20

次のような内容のファイルを作成  
ファイルの拡張子を.php にすることを忘れないこと。

```
1<!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <title>初めての HTML</title>
4 <body>
5 <?php
6print "こんにちは、このホームページは--自分の名前--が作成しました。";
7?>
8</body>
9 </html>
```

- ▶ PHP のプログラムは HTML 文書の中に埋め込むことができる。
- ▶ PHP のプログラムの部分は `<php` と `?>` 内に書く (5 行目から 7 行目)。
- ▶ 文字列を印刷するためには `print` をつかう。`echo` を使うこともできる。
- ▶ 文の最後は ; をつける。
- ▶ 文字列は `" "` で挟むか `' '` で挟む。C 言語のように文字というデータは存在しない。
- ▶ `" "` 内の文字列では変数名や制御コード (改行) などがその値で置き換えられる。

- ▶ この PHP のファイルを用いて表示されたページのソースはどのようなになっているか
- ▶ このことが何を意味するか

- ▶ PHP は言語の仕様を C 言語から借りてきている面が多い。
- ▶ for 文や if 文は形式的には同じ形
- ▶ 変数名は\$ ではじめなければならない

## 繰り返しの例

第 9 回目 (その 1)

メディア専門ユニット I (SVG)

PHP の基礎 (1)

上の文章を 10 回繰り返して書くには次のようにすればよい。

```
1<!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <title>初めての HTML</title>
4 <body>
5 <?php
6 $myName ="私の名前";
7 for($i=0;$i<10;$i++){
8   print "こんにちは、このホームページは{$myName}が作成しました。\\n";
9   print '   こんにちは、このホームページは{$myName}が作成しました。\\n';
10}
11?>
12</body>
13</html>
```

- ▶ 1 行目から 5 行目まではそのまま出力される。
- ▶ 4 行目から 11 行目が PHP により処理される。
  - ▶ 6 行目で変数 `$myName` に値を代入
  - ▶ 7 行目から 10 行目が `for` による繰り返し。
  - ▶ 8 行目と 9 行目で `echo` による文字列をそれぞれ出力
  - ▶ 変数名の前後にある `{ }` は変数名をはっきりさせるために付けている。変数名に使用できない文字が来ればその前までを変数名として取り扱われる。
  - ▶ JavaScript のテンプレートリテラルと異なり、式を直接書くことはできない

## やってみよう

第 9 回目 (その 1)

メディア専門ユニット I(SVG)

PHP の基礎 (1)

- ▶ サーバーを起動して「10 回表示する」ページがどのように表示されるか
- ▶ 起動後のページのソースはどうなっているか
- ▶ コンソールから PHP プログラムを実行して、上記のページのソースと比較する。
- ▶ 「10 回表示する」ページにおける表示に不具合があれば直す。